

(別紙4(2))

事業所名: グループホームほのぼの

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 7 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	コロナ禍の現状で、ご家族をはじめボランティアや地域住民の方々との交流の機会がなかなか得られていない	今後の感染状況を踏まえつつ、感染防止対策を強化しながら、安全な面会方法や地域の方々との交流の機会を作っていく	・菅さん対策を取ったうえでご本人の状態に応じた面会方法の創意工夫を考え実行可能にしていく ・地域の最新情報への関心を持って、参加可能な行事やボランティアさんの訪問にも、感染対策を確保したうえで積極的に関わりを働きかけていく	6ヶ月
2	10	運営に関する事に運営推進会が中心となり、利用者や家族等の意見の反映がなされていない	家族会代表と共に、施設に関してもいるんなご意見や要望を頂き、ホームの運営改善に繋げていく	・定期発送の広報誌と共に、個別的な暮らしの情報と施設情報も加え、ご家族からのご意見を反映させる意見書とも同封していく ※災害対策としての避難訓練状況も	6ヶ月
3	52	日々居心地よい共同空間や生活感、季節感ある環境の提供に、十分な気遣いがなされていない	外界の変化や不快な環境の訴えができないご利用者の事を考え、常に気持ちよく居心地の良い環境であるかを考え適切な環境に整えていく	・室内、ホールの整理整頓 ・常にご利用書にとって…の目線から見ていく ・適切な温度、光、色、広さ、湿度に配慮した生活環境や季節感を取り込んでいく	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。